

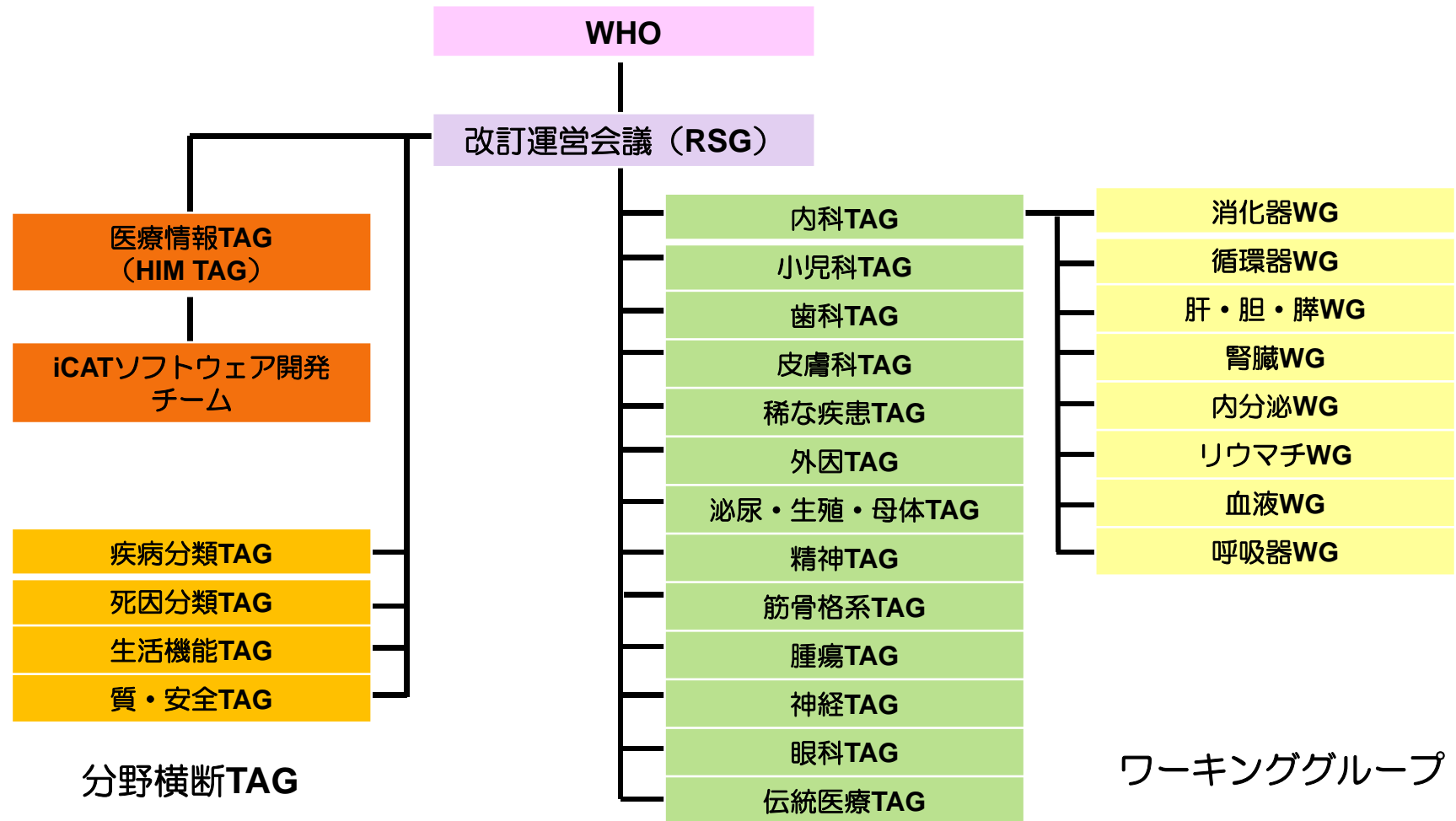
医療 ICT の現状：利・活用されないデータ — ある病院が1年間に提出した各種調査（例）

No	区分	所管	提出先	調査日付	調査名	調査票名	根拠法令等	対象 (調査客体)	調査の主な内容	備考
1	①病院機能等	厚生労働省	みずほ情報総研株式会社	14/11/14	病床機能報告制度	基本項目 施設票 病棟票	医療法第30条の3 の2	一般病床・療養病床 を有する病院・有床 診療所	職員数、DPC群、在宅療養支援・在宅療養 支援後方病院、看取り患者数、二次救急・ 救急告示、救急医療、医療機器、知育調整 部門/医療機能、6年後の医療機能予定、 許可・稼働病床数、入院基本料・特定入院 料（病床数）、病棟部門職員数、主診療 科、入院患者数、入棟前・退棟先別患者状 況、在宅医療必要患者の状況、分娩件数、 重症度、医療・看護必要度、リハビリテー ションの状況	平成26年のみ11月14日 来年以降、毎年10月31日まで
2	①病院機能等	厚生労働省	都道府県	年1回	がん診療連携拠点病院等の現 況報告		がん診療連携拠点 病院等の整備に関 する指針	がん診療連携拠点 病院	病院概要、指定要件の状況等 がん診療に関わる種々の資料	年1回報告 毎年10月末日までに都道府県から報告
5	①病院機能等	厚生労働省	保健所	14/10/01	医療施設静態調査	病院票	統計法に基づく基 幹統計調査「医療 施設調査規則」	すべての病院・診療 所	許可病床数、診療科目、患者数、科別医師 数、処方状況、救急医療体制、委託の状 況、院内保育、IT化の状況等々	3年ごと
12	①病院機能等	都道府県	都道府県	14/01/01	医療機能情報提供制度調査	医療機能情報調 査票（病院用）	医療法第6条の3	病院、診療所、歯科 診療所又は助産所	病院基本情報、医療機関へのアクセス等、 医療機関内サービス・アメニティ、費用負 担等、診療内容、提供保健・医療・介護 サービス、医療実績等	
17	①病院機能等	都道府県	保健所	14/10/29	病院の許可病床数、ICU等病床 数及び職域病院等の調査	ICU等病床数及 び職域病院等の 在院患者数調査 票		病院	ICU等病床数、職域病院等の在院患者数	
20	②診療報酬に 係る施設基準 等	厚生労働省	厚生労働省	年4回	DPC調査（DPCデータ提出）	DEFファイル、 様式1、様式 3、様式4、外 来統合EFファ イル		DPC対象病院 DPCデータ提出加算 算定病院	Dファイル（診断群分類点数表により算定し た患者に係る診療報酬請求情報）、EF統合 ファイル（医科点数表に基づく出来高点数 情報）、様式1（簡易診療録情報）、様式3 （施設情報）、様式4（医科保険診療以外の 診療情報）	年4回（3月分） 7月（4～6月分）・10月（7～9月 分）・1月（10～12月分）・4月（1～ 3月分） DファイルはDPC対象病院のみ、外来統 合EFファイルは届出病院のみ
21	②診療報酬に 係る施設基準 等	厚生労働省	厚生労働省	13/06/01	医療経済実態調査（医療機関 等調査）	病院調査票	統計法に基づく一 般統計調査	社会保険による診 療・調剤を行って いる全国の病院等	許可病床、処方の状況、入院基本料等の状 況、損益計算、職種別給与内訳、資産・負 債、租税公課等	平成25年度より、単月調査から通年調 査（2期比較）へ、2年ごと
24	③患者調査	厚生労働省	保健所	14/10/21	患者調査	病院入院（奇 数）票 病院（偶数）票	統計法に基づく基 幹統計調査	匿名無作為に抽出 した医療施設（病 院：約6,400施設 等）	性別、住所、入院年月日、受療の状況、診 療費支払方法、病床の種類別、紹介の状況、 来院時の状況、入院の状況	3年ごと 平成26年10月21日（火）～23日（木）の 3日間のうち、病院ごとに指定した1日 退院患者は、平成26年9月1日～30日ま での1か月間
25	③患者調査	厚生労働省	みずほ情報総研株式会社	2014年11月	入院医療等における実態調査	病棟調査票、入 院患者票、補助 票、退院患者 票、管理票（様 式1）、管理票 （様式2）			診療科、入院基本料、病棟基本情報、入院 患者基本情報、退院患者基本情報、病棟管 理、退院管理表	
38	④その他	厚生労働省	厚生労働省	14/10/01	平成26年就業形態の多様化に 関する総合実態調査	事業所票 個人調査	統計法に基づく一 般統計調査	常用労働者5人以上 の事業所約1万7千事 業所等	事業所の属性、労働者比率の変化、正社員 以外の労働者を活用する理由、正社員以外 の労働者の活用上の問題点、就業形態別各 種制度の適用状況	

医療 ICT の有効事例 － 国際疾病分類（ICD）

- **International Classification of Diseases（ICD）**
- 疾病、傷害及び死因の統計を国際比較するためWHOから勧告された統計分類
 - ルーツは1860年のナイチンゲールの病院データ活用
 - 日本への導入は1900年（明治33年）
 - 1949年の ICD6 から本格活用
 - 死因統計・疾病管理・診療報酬支払等に活用されている
 - アルファベットと数字を用いたコードで表される
 - **Global standard**として117か国、43言語で用いられている
 - 現在は **ICD10**（1990年から）
- **ICD11改定**
 - 2017年改定に向けた作業が進行中
 - 日本病院会は2005年から年30万米ドルの支援を行っている
 - **EHR（Electronic Health Records）**での使用が可能

ICD 改訂組織図



医療者が心掛けていること・望むこと

- 「良質で安心・安全な医療」の提供
- 「頑張っているものが報われる」システム
- そのための適正な評価
- 「適切なデータの収集・解析・活用」なくして評価はできない
- 有効なデータの利・活用